

山形コロニー放課後等デイサービス シード天童【自己評価表】

山形コロニー放課後等デイサービス シード天童では、事業所が提供するサービスの質について、評価・点検をしています。指定基準を満たしたうえで、より良いサービス提供を目指すとともに、自己評価を公表することで、地域のみなさまに安心してご利用いただく一助となるためのものです。なお、評価基準は、厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」をもとに独自の基準を設けています。

○：おおむね良好といえる

▲：より良くしていきたい

×：改善が必要

		チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	▲ もう少し広いスペースがあるといいと思います。	▲	・利用児数が増えたことによって、スペースが狭いと感じることもあるかと思われます。活動内容の工夫やグループ活動の充実、活動室を有効に利用しながら支援を行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○	○	・利用者数が増えたことによる送迎時間帯の課題はあるが、当事業所は人員配置を超える職員を配置しております。また、支援にあたる専従の職員の全てが有資格者です。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○	○	・玄関の階段を一部修繕し、スロープを設置しております。すべての方がご利用できるよう、施設内の段差は、合理的配慮を持って安全な体制を整えています。
	④	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか	—	○	・毎日の活動が気持ちよい空間で過ごせるよう、活動前後は清掃を行い、日々の業務で安心して利用できる清潔な環境作りを行っています。また、新型コロナウイルス等感染症対策として、定期的な喚起と活動後の環境消毒を徹底しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	—	○	・計画に沿った支援ができるよう、支援開始前と終了後にスタッフミーティングを実施しています。スタッフ全員によるケース検討会議も実施し、PDCAサイクルの機能を生かし支援を行っています。
	⑥	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	—	○	・保護者向けアンケート結果の評価・ご意見を参考にしながら、より良いサービスに努めます。
	⑦	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	—	○	・保護者の方からのアンケート結果、自己評価表をホームページにて公開しています。今後も、ご意見をいただきながら継続していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、調査結果を業務改善につなげているか	—	○	・法人内のより良い運営のために、事業所間で確認し合う内部監査を実施しています。 ・第三者の指導等を活かし、適切な業務管理と法令順守に努めています。
	⑨	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	—	▲	・研修計画に基づくOJT、OFFJT等の必要な研修機会を確保し、職員の専門性・質の向上に努めています。小学生から高校生まで幅広い学年の支援を行うために、山形のシードと連携し、療育的な自立支援サポートのあり方や、シードの特徴である職業準備訓練プログラムの拡充を目的に合同研修を実施し、専門性をもって支援にあたるよう努めています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題等捉えた放課後等デイサービス計画を作成しているか	—	○	・保護者と面談し、利用児の様子や希望を伺いながら利用児と対話し、課題やニーズを丁寧に確認し計画を立てています。また、学校や関係機関と連携しながら、スモールステップで目標が一つ一つ達成できるように意識したプランを大切にしています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	—	○	・独自のアセスメントツールを使用し、必要な情報の把握に努めています。頂いた情報から、より効果的な支援の強化を目指しています。
	⑫	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	—	○	・計画を共有し、目的を持った活動を企画し提供しています。職員間で個々のケース会議を行い確認して支援をしています。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	—	○	・支援者ミーティングの中で、個別支援計画に基づき、意向に沿ったプログラムを提供できるように考えています。
	⑭	活動プログラムは、個々の計画に応じた工夫がされているか	○	○	・個々の課題や発達段階に応じ、活動プログラムを日々工夫しながら設定しています。 ・将来を見据え、自分らしく生きるための『生活力』を機会や経験の中で育み、可能性を広げる経験を提供し、できたことを認め、確認していきます。 ・『コミュニケーション力』の向上のため、生活に必要な報告・連絡・相談が出来るよう取り組みをしています。
	⑮	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	—	○	・日々のミーティングの中で、活動内容や支援内容、課題等を考え検討しながら、サービスを提供しています。長期休暇期間には、普段できないような経験や活動の機会を提供したいと考え、計画を設定していました。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	・子どもの現状や課題を整理し、集中し取り組む個別活動やみんなと仲良く活動するためのコツを覚える集団活動を組み合わせ、目的をもって計画を作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	—	○	・1日ごとの支援予定表を作成しています。支援者は、当日の役割分担、支援内容、時間設定を確認できます。誰が見ても動きがわかるように管理しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	—	○	・支援終了後も、毎日、支援者で振り返りを行い、当日の活動状況の中の気づき、情報の共有、課題等の話し合いをしています。意見交換をすることで、より良い対応と支援者が同じ方向を見て支援することができます。
⑲	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	—	○	・記録は、第三者が見た時にも様子が把握できるよう意識しながら記録しています。利用者一人ひとりの変化や状態を把握していくとともに、スタッフ間で情報を共有し、継続した支援を行えるようにしています。記録は、支援者自身の仕事への振り返り、支援スキル向上にも繋がっています。	

	20	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	—	○	・6か月以内に一度を基本としつつ、必要に応じ適宜モニタリングを実施しています。支援計画の見直し、目標の再設定、意向を考慮しながら、適宜計画内容を変更しています。
	21	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	—	○	・将来の可能性を広げるために、「できた」「わかった」という成功体験の蓄積と、自分らしく生きるために生活スキルの向上を目指します。社会の中で必要なルール学習を軸に、たくさんの体験の機会を提供できるように努めます。
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	—	○	・主に児童発達支援管理責任者が参加しています。児童発達支援管理責任者に加え、必要に応じて直接処遇職員も参加することがあります。
	23	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	—	▲	・年間予定表や月間予定表、時間割表等は保護者経由でいただいております。また、急な変更や時間の変更などは、日常的に保護者の方と予定の確認を行うことで混乱はありません。学校との情報共有は、学校によって、理解が得られない場合もあり、連携は十分とは言えません。 ・トラブル等があった際に、連絡先をしっかりと確保できるよう、緊急連絡先の把握も行っています。
	24	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	○	・医療的ケアを要する児童の受け入れ体制を持っていません。 ・医療的ケアを必要としない児童でも、必要に応じて主治医との連携や服薬管理等のサポートをしています。
	25	子どもが他の放課後等デイサービスを利用している場合、放課後等デイサービス間で情報共有と相互理解に努めているか	—	○	・相談事業所と連携しながら、他の事業所と支援の内容を確認し、情報交換を行っています。全員の利用児に対して、連携が十分とは言えないが、顔の見える関係作りに努めています。
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	○	・当事業所では、現在、小学生から高校生までの受け入れを行っていますが、まだ卒業を支援した児童はいません。しかし、当法人は、就労支援を専門とした法人ですので、将来の就労を見据えた繋がりのある療育を行っています。
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	—	▲	・出来る限り専門機関等の研修には積極的に参加しています。課題や問題意識をもち、必要に応じて保護者を通じ専門医から助言をいただけるよう、連携しています。
	28	地域の方々との交流や、地域の中で活動する機会があるか	○ 土曜の活動が楽しみで充実したものになっています。	○	・地域の方々との交流は、例年、春の避難訓練や、秋の芋煮会で交流する機会を作っていましたが、今年は新型コロナの影響で交流は控えさせていただきました。 ・地域の中の活動として、「はたらく」体験として公共施設で「しごと体験」を行うことになりました。人に喜ばれる活動ができたという自信や、働く上で基本的なマナーが身につく、将来へつなげられることを目的にしています。
	29	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	—	▲	・天童市の自立支援協議会は、体制が不十分で、地域の事業所が参加できる機能はありません。地域の相談事業所や放課後等デイサービス事業等の事業所レベルで連携し、意見交換等を行う連絡会等の自主的な組織で構成し、地域福祉向上に向けて積極的に活動しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	○ 今出来ている活動を「今の子どものかだと、もう少しこうしてみてもできるのでは」とステップアップした活動も提示してみただけなら、よりありがたいと思います。	○	・「連絡帳」を活用していますが、できるだけ対面して、保護者の方に活動の様子をお知らせしています。家庭での心配事や学校での取り組みや課題についての把握にも努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	—	○	・今年度は保護者向けペアレントトレーニング等の研修会は実施しておりません。生活の中で、児童への関わり方のポイントやアドバイスをお迎え時や面談時においてお伝えしています。
保護者への説明責任等	32	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	○	・利用契約の際に説明しています。運営規定、重要事項説明書等に変更がある場合、随時説明し、同意をいただいております。
	33	保護者に対して面談や、子育て・将来のことに関する助言等の支援が行われているか	○ いつも頼りにさせて頂いています。これからもよろしく願っています。	○	・子供の発達のこと、学校での課題や将来のこと等、希望や不安の相談に応じ、必要な情報提供や助言を行っています。保護者に寄り添いながら一緒に考えていく機会を持てるようになっています。
	34	児童、保護者が一緒に活動できる機会の提供により、活動している利用児同士の交流の機会や、保護者同士の関係づくり等が提供されているか	○	○	・行事活動等で、親子と一緒に活動する機会を設けています。新型コロナの影響もある中、感染対策を十分に行い、人数の調整や密にならない距離に配慮しながら活動を行いました。
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	○	・玄関に意見箱を設置しております。苦情受付担当者や苦情解決責任者を配置し、苦情解決委員会の体制を取り、迅速に対応できるようにしています。保護者への通知は、シードだよりに掲載し、周知しています。
	36	定期的に会報を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○ すみません。HP見てなかったです。	○	・3ヶ月に一回、シードだよりを発行しています。山形県コロナ協会ホームページにも記事を更新し、シードの活動の様子をお知らせしています。
	37	個人情報に十分注意しているか	○	○	・個人情報は、保護規定に沿って安全に管理しています。管理体制を強化するために、職員の教育や意識を高める取り組みを行い、適切に管理していきます。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○ いつもお迎えが遅くなってすみません。対応してくださりありがとうございます。	○	・情報伝達については、個々にあった伝え方を大切にしています。必要に応じて、言葉以外のツールも活用し、情報を伝えられるよう配慮しています。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	—	▲	・地域連携を重視し運営を行っています。毎年、地域の方を事業所に招く機会（芋煮会、防災訓練）や、公民館活動、福祉活動に参加しておりますが、今年度は新型コロナウイルスにより、事業所内の出入りは最小限にし、昨年より地域の方とのふれあいは減りました。

非常時等の対応	40	緊急時の対応や防犯、感染症などの対応についての手引きを策定し、保護者に周知・説明されているか	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 必要なマニュアルについては、法人で策定し、業務上徹底した管理に努めています。また、「新型インフルエンザ等発生時における業務継続計画」を作成し、感染発症時の訓練を行いました。 保護者にマニュアルは配布していませんが、感染症の予防について、わかりやすく説明された「新しい生活様式」等のチラシを渡し説明しています。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 法定訓練として、年2回の避難訓練を行っています。 大きな災害があった場合は、近くの小学校や公民館が避難場所となります。職員の誘導で避難は行われます。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 年1回は、職員研修の機会をもって、虐待防止の研修を開催しています。
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 強度行動障害児等、活動する中で安全管理を必要とするケースは、個別支援計画書に、具体的な対応を盛り込み説明し同意を得ています。やむを得ず対応を要する時には、利用児の安全確保を一番と考え、支援体制を整えています。 引き続き職員1人ひとりが意識を高め、利用児の安全管理に努めていきたいと思っています。これまで拘束等を行うことがなかった点は良いことですが、この対応を要する機会がない支援のありかたについては、十分に検討しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師指示書に基づく対応がされているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 食物アレルギーの有無については、利用開始時に必ず確認しています。対象児は、必要に応じて医師の診断書を提出していただき、提供するおやつなどの成分表を二重チェックで十分に確認し、リスク管理を行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 日々のスタッフミーティングにて「ヒヤリ・ハット」を確認しています。支援者間で、リスクを共有し、対応について具体的に検討し改善していきます。施設環境整備についても、常に安全の確保に努めています。
満足度	46	子どもは通所を楽しみにしているか	▲	▲	<ul style="list-style-type: none"> 利用児の発達段階や障害の程度・特性に合わせてながら、将来を見据えて、いろいろな経験ができるように支援しています。利用児にとって、すべてが楽しい活動とはならないプログラムもあると思われそうですが、活動の中で、「できた」という成功体験を積みながら、自信を育てていきたいと思っています。職員として、子供たちが心から参加したいと思えるよう、活動内容や環境作りをもっと充実させ、より良い支援に努めます。
	47	事業所の支援に満足しているか	○ 丁寧な言葉使いと関わり、いつもありがとうございます。	▲	<ul style="list-style-type: none"> 子供の成長に必要な機会の提供や活動の工夫は重要と考えます。利用児を主体とし、ご家族と一緒にご意見や意向を伺いながら、共に悩み、考え、活動できる事業所となるよう努めていきます。

職員の配置状況（令和3年2月15日現在）

施設長：1名、児童発達支援管理責任者：1名、保育士：4名、児童指導員：3名、障がい福祉サービス経験者：1名

職員の資格 等（令和3年2月15日現在）

保育士：3名、社会福祉士：1名、介護福祉士：1名、保育士：4名、児童指導員3名
強度行動障害支援者研修終了3名 など